

経営の相談にも、応えられる事務所へ。

答えられる相談が増える。その積み重ねを、顧問先からの信用に。

01 「どうすればよいか」に応え、信用を深める

資金繰りや粗利の相談に、数字の説明と次の支援策で応える。
経営の悩みも相談できる事務所として、関係を深める連携です。

02 相談に応えるための、具体的な実行支援

月次で利益と現金のズレ、6か月先までの資金繰りを確認。
週次では残高と入出金を見て、仕入れ・支払い・予算や役割を調整。
商品・取引先別の粗利を分解し、現場と改善策を絞ります。
月次で、提案等を実行したか、その後の数字がどう動いたかを確認します。

03 先生方と顧問先との関係を大切にする

税務判断・申告は顧問税理士へ確認。既存の財務・経営支援も伺い、
数値整理・経営者との対話・改善実行のどこを分担するか相談します。
顧問契約の変更を前提にせず、連絡・同席・報告方法を合意します。

支援者・対応地域

上野 貴司 | 中小企業診断士・社外CFO
国内大手の税理士法人で経営コンサルティングに従事。
埼玉県入間市を拠点に、県内全域へ訪問して支援します。

まずは資料を所内で共有し、問い合わせの可否をご検討ください。
初回は顧問先名・決算書を共有せず、相談の概要から始められます。

所長に、次の支援策を相談する。

問い合わせだけで、顧問先への紹介や支援契約が確定することはありません。

問い合わせ前に、所内で整理すること

1. 顧問先から受けた相談の概要と、緊急性。
2. 所内で対応する範囲と、外部に相談したい範囲。
3. 問い合わせ担当者、所長・上長の同席希望。

所長・上長への相談文例（必要な部分を書き換えてください）

顧問先から、[資金繰り・粗利改善など]の相談を受けています。
所内では[対応範囲]を担当し、[外部に相談したいこと]を検討しています。

国内大手の税理士法人で経営コンサルティングに従事した経験を持つ、
Issue-Consultingの上野氏の資料を添付します。
まず顧問先名や決算書を共有せず、対応可否・役割・費用を
問い合わせてもよいでしょうか。顧問先への紹介や支援開始は、
回答を確認してから改めて相談します。

問い合わせ後、開始前に確認すること

対応範囲と進め方、契約当事者・費用、担当者の作業負担、
顧問先への紹介・連絡方法、資料共有への同意、報告・同席方法。
費用は支援内容に応じて個別に確認します。融資実行は保証しません。

所内で確認できたら、フォームからご相談ください。

法人・事務所名、ご担当者名、相談概要をお知らせください。
顧問先名・決算書は不要。月～金9:00～18:00、土日祝休み。

<https://issue-consulting.com/contact.php?topic=tax-partner>

